平成３１年度

ユネスコスクール全体計画

大牟田市立玉川小学校

学　校　教　育　目　標

自ら学び、豊かな心で明るく健康的な子どもの育成

本校におけるユネスコスクールの目標

持続可能な社会を構築するために、学校の教育活動全体を通して、友だち、家族、地域の方々など、「人とのかかわり」を大切にして豊かな心を育むとともに、食生活に関心を持ち、自ら食に関する考えを深めながら、心身ともに健康な子どもを育成する。

目指す子ども像　（重点目標）

食生活に関心を持ち、自分で考え、進んで活動できる子ども

ＳＤＧｓの視点に立った家庭・地域と連携した食育指導の充実を図る

１年　「なんでもたべよう」　留寿都小交流：さつまいも・お手紙交流

※すききらいなく食べることの大切さに気づくことができる。

２年　「やさいづくりをしよう」　留寿都小交流：さつまいも交流（いきなりだんごレシピ）

※夏野菜を栽培したり、簡単な調理をしたりして、季節の食べ物に関心を持つことができる。

３年　「地域の特産物の収穫体験をしよう」　留寿都小交流：校区マップ、みかん交流

※地域の特産物を調べ、それらの特産物（いちご、みかん等）の収穫を通して、地域の特産物に関心を持つことができる。

４年　「地域の特産物を使って、デザート作りをしよう」留寿都小交流：梅ジュース、イチゴジャム

※地域で栽培しているイチゴなどを使ってデザート作りを行い、地域の特産物に対する愛着や誇りを持つことができる。

５年　「米づくりに挑戦しよう」　留寿都小交流：たけのこご飯づくり、お弁当の日

※地域の方と共に、稲作の栽培活動（田植え体験、夏の草取り、稲刈り体験）を通して、農家の方の大変さに気づき、協力してくださった方々に感謝の気持ちを持つことができると共に、収穫した米で餅つきを行い、「福祉餅」として高齢者の方達に配布する。

６年　「野草学習」　留寿都小交流：学校紹介、大牟田紹介（世界遺産関係を中心に）

※玉川の自然にふれよう。

各教科・特別の教科　道徳・総合的な学習の時間・特別活動

家庭との連携

○学校での学習内容や体験を家庭で生かす。

○親子による親子料理教室

地域との連携

○地域の人材の活用

（栽培・収穫・調理時の協力依頼）

○地域の食材の栽培農家の活用

関係機関等との連携

○教育委員会　○地域ＪＡ

○北海道留寿都小

○韓国　蒼水初等学校　等